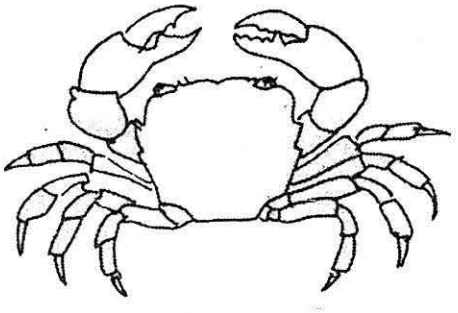
磯（いそ）のカニ

夏休みには、海水浴などで海へ出かける機会が多くなります。海にはさまざまな生き物がすんでいますが、カニは動きがユーモラスで、はさみを振り上げた姿が、人気があり、磯でカニを取っている子供たちをよく見かけます。

富山の海岸のカニにもいろいろな種類がいます。波消しブロックの上で盛んにはさみを動かしているのはイワガニ。足が太く、逃げ足が素早いカニです。波打ち際の石をそっとひっくり返すと、足にしま模様のあるイソガニや甲（こう）らの平たいヒライソガニ、オスのハサミに毛の束のあるケフサイソガニが見られます。これらのカニはみんなイワガニの仲間ですが、イワガニより動きがおそく、とらえやすいカニです。

イワガニ



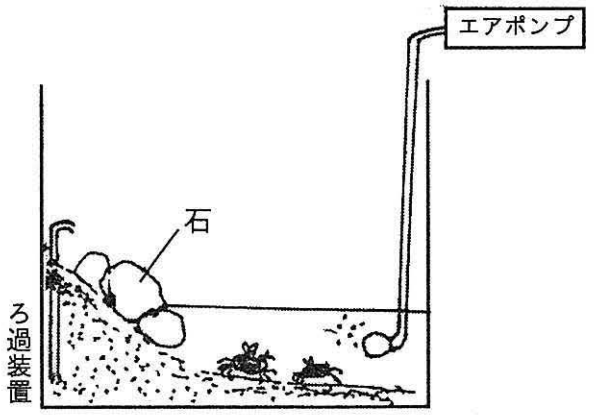
ヒライソガニ

イソガニ

ケフサイソガニ

カニを飼ってみよう

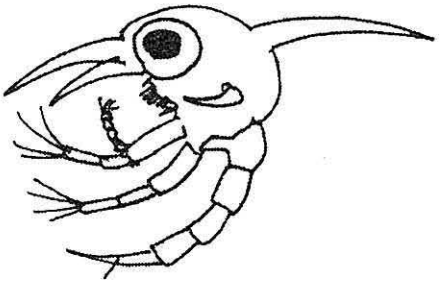
イソガニやヒライソガニなどはもっとも飼いやすいカニです。新鮮な海水か、人工海水にカニを入れて飼ってみましょう。小さな水そうにたくさん入れると共食いしたりします。エサは生の魚や貝の肉、ニボシやゴハン粒、ミミズ等です。エサが腐ると水が悪くなり、悪臭を放つようになり、カニが死んでしまう原因になります。また、カニは体が大きくなるために時に脱皮しますので「死んでしまった」と早合点しないようにしましょう。



カニの子供と肌でふれあう

ところで、海を泳いでいると、クラゲもいないのに、何者かに肌を刺されたことがあるでしょう。その多くはカニの子供のしわざです。カニが卵からかえりしばらくすると姿を変えて、下の図のようなゾエアと呼ばれる幼生になります。長い突起が皮ふにさわると痛いのですが、これは体の面積を増やし、水に浮くための工夫と考えられます。

（布村 昇）



カニの幼生・ゾエア

富山市科学文化センター
〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 TEL(0764-91-2123)
ホームページ http://www.tsm.toyama.toyama.jp

平成１０年７月１日